

# は〜とふる 日光

## 日光市の 女性の自治会長



高田さん

大橋さん

平間さん



神山さん

## 足尾に緑を育てる会 事務局長

日光市の225人の自治会長のうち、女性は3名です。この3名の方々にお集まりいただき、座談会を行いました。

また、足尾の荒廃地に植樹を進めている「足尾に緑を育てる会」の事務局長への取材、そして「女将さんリレー」は2回目になります。ぜひご覧ください。

日光市男女共同参画社会づくりフォーラムin日光

む ろ い ゆ づ き

## 室井佑月氏 (作家) を講師に迎えます

室井氏が出演されている番組の一部

- ◆TBS系の「中居正弘の金曜日のスマたちへ」
- ◆NHKの「おはよう日本」など

日光市男女共同参画都市宣言5周年を記念して、フォーラムを開催します。

下に掲載している「日光市男女共同参画週間」に開催しています。ぜひご来場ください。

### 主催

日光市・日光市男女共同参画社会づくり市民会議

### 日時

平成25年3月16日(土)  
13:30~16:00(13:00開場)

### 場所

今市文化会館(日光市平ヶ崎160)

- 講師 室井 佑月氏(作家)
- 演題 「女らしさ 男らしさ」
- アトラクション「朗読劇」

栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会

日光市連絡会の皆様は、県から「地域で男女共同参画を推進する委員」として委嘱された方々です。

- 男女共同参画推進事業者等の表彰  
市内でワーク・ライフ・バランス等を推進している事業者や団体の表彰を行います。

※事前申込不要、入場無料

※託児を申し込むときは、3月11日(月)までに、下記までご連絡ください。

人権・男女共同参画課 電話21-5148



## 「日光市男女共同参画週間」 今年は3月11日(月)~17日(日)です。

5年前の3月15日、日光市では「男女共同参画都市宣言」を行いました。都市宣言を記念して、日光市男女共同参画推進条例の中で、「3月に男女共同参画週間を設ける」としています。

市では期間中、市役所本庁スロープに横断幕を設置するほか、「広報にっこう」に特集記事を掲載しています。ぜひご覧ください。

皆様、この機会に改めて「人を思いやる」ということは、どんなことだったが、思い出してみませんか。この週間に合わせて行う、上で紹介しているフォーラムも、そのお手伝いができるかもしれません。



### 「は~とふる日光」の由来は？

5つの地域が合併し、新市の人々誰もが“しあわせ”を感じ、まさに愛があふれるような願いを込めて、名称を「は~とふる日光」にしました。

また左のロゴマークは、5つの地域のハート(温かい心)をイメージしました。表紙の題字にあります。



## とちぎ次世代人材づくり2012に参加して

この研修会は、8月から2月まで行われ、メインは10月の「日本女性会議2012仙台」への参加になります。日光市から参加した荒川栄子<sup>あらかわ えいこ</sup>さん（清滝）に感想をうかがいました。

### 「日本女性会議2012仙台」の研修に参加して

被災にあいながらも、支援される側からする側にまわり、積極的に地域活動に取り組んでおられます女性の活動をご紹介します。

商店街の復興活動に積極的に関わっていらっしゃる、「かめ七呉服店」のおかみさんは、津波で泥だらけになった店の掃除を手伝ってくれたボランティアの姿に勇気づけられ、商店街全体の再開を目指し、ご主人と協力して活動を広げ「コミュニティカフェ」として開放しています。そしてそこは地域の人々やボランティア等で訪れた人達が自由に集える場所となっています。また、自分が体験した震災の記録を「かめ七おかみさん日記」というブログにして、県外の人々との情報交流にも努めています。

一方、仮設住宅の自治会長である武田さんは、ボランティアの対応を進んで引き受け、集会所では、料理教室やマッサージの会など、住民が元気になるイベントを積極的に開催しております。

こうしたお話を伺って、お二人とも地域の人への心配りあるいは人のつながりを大切にする、行動力を備えたリーダーとしてふさわしい方達だと思いました。

#### 研修を通して強く感じた事

お二人の活動を是非参考にさせていただきながら、私も地域活動として、井戸端会議のように近所の人々が誰でも気軽に立ち寄れる場所を提供し、まずはお茶を飲みながらおしゃべりができるような「居場所」作りができればと思っております。



かめ七呉服店のおかみさんと共に  
一番右が荒川さん

#### 日光市男女共同参画セミナー

## 地域を変えるデザインづくりと男女共同参画社会

日光市では、5地域それぞれに男女共同参画セミナーを行っています。  
今回は、栗山地域のセミナーです。ぜひご参加ください。

- 日時 ● 平成25年3月7日（木） 13:30～15:15
- 場所 ● 栗山総合支所 3階
- 講師 ● 宇都宮文星短期大学教授 喜山朝彦（きやまともひこ）氏
- 託児 ● 平成25年3月5日（火）までに、下記問い合わせ先に申し込んでください。
- その他 ● 託児以外の事前申し込みは不要です。参加費無料。

#### 問い合わせ先

健康福祉部 人権・男女共同参画課

電話：21-5148 FAX: 21-5105 E-mail: jinken-danjo@city.nikko.lg.jp

heartfull  
はつこ

# 女性自治会長の座談会

日光市には女性の自治会長が3名いらっしゃいます。  
全225自治会中、女性の自治会長はたったの3名です。パーセントでいえば1.3%。  
3名の方々にお集まりいただき、自治会の現状や、女性自治会長を増やしたい思いを伺いました。



女性も自治会役員に積極的に入っていきましょう

太陽ファミリーランド自治会長（藤原地域）<sup>ひらま</sup>平間サチ子さん 4年目

※太陽ファミリーランド自治会は、平成23年度「日光市男女共同参画推進事業者表彰」も受賞されています。

私は、自治会の会計6年、副会長を4年務め、会長4年目（2期目の2年目）になりました。

女性の皆様も、まずは役員として自治会に入り、自治会とはどのようなものか理解し、女性の目線を加えて自治会をより良くしていったら良いと思います。

私からは何も提案しません。やりたいことを会員から提案してくれるので、会員が自主的に動いてくれます。

また、自治会の役員は、ほとんどが女性です。そこも動きやすいところだと思います。

私は、地区役員をしていましたが、自治会役員を経験せずに、いきなり自治会長になりました。

とまどいはありましたが、地元への恩返しのため受けました。

自治会長をやって、良かったと思うことは、地域を知ったということです。行政との関わりも難しくはないですよ。



だれでも自治会長になれるんです

長畑自治会長（今市地域）<sup>おおはし</sup>大橋カツさん 2年目

## 女性のあなた 自治会運営

とにかく皆様に、自治会が何をしているのか、わかるように活動しています。



なにせよ、女性が選ばれたら、「拒否しないで受ける」ということだと思います。

それが女性の進出になるのだと思います。



## 自治会長の3分の1が女性になれば、日光市は絶対に栄える!

新栄郷第1自治会長 (今市地域) たかだ のりこ 高田徳子さん 1年目

いろいろな人が自治会長をやり、多くの人々が様々なことを感じ、携わり、世界を見ることで、幅広い意見が出る、自治会がもっと良くなっていくと思う。

会長が先頭立って何でもやっちゃうと、誰も動かない。だからいかにうまく人を使えるかということだと思う。

女性としての苦労は感じていない。苦労は精神的なものだと思う。ただ女性は依頼心が強く、そこが男性と違うところで、自治会運営がうまくいくのではと思う。

苦労というよりは「みんなでやろう」がスタートラインだから苦労と感じない。やる気だと思う。

# に参画を!

※参画：企画立案の段階から参加すること。

日光市の自治会長225人中、222人は男性。みなさん、どう思いますか。

日光市の女性の自治会長の割合が1.3%。栃木県平均は1.5%、全国平均は4.3%、高い都道府県では10%を超えているところもあるようです。日光市の割合の低さがよくわかるかと思います。

おととしの大震災でも、避難所運営等について女性の目線が入らずに、女性が不便したという報道もありました。今後の防災対策の面を考えても、自治会運営には女性の目線が必要だと思います。3名の皆様には、ぜひこれからも自治会運営に携わっていただきたいと思います。



## 「女将さん」リレー

こにし れいこ  
小西令子さん



2回目の今回は、奥日光小西ホテルの小西令子さんです。高校時代に訪れた日光湯元。そこの旅館の女将として60年以上のキャリアを誇る小西令子さんの取材の中で光った言葉を届けます。

### 「女将とは女性の感性を生かせる最高の仕事」

女性は自分が食べるより子どもに食べさせて、その喜ぶ顔が喜びとなる。旅館というのは、その喜びを積み上げて成り立つものである。

### 「人間関係をうまくもっていくには、褒めるのが一番」

人が育つ大きな要因であり、また感じたことを素直に伝えることが、相手にとっても良いことだと思う。従業員には「お客様の良いところはどんどん褒めなさい」と言っている。

### 「湯元の名物を作りたい」

「湯元」の知名度を上げたい。さらに、「湯元といえばこれ!」という名物を作っていきたい。最後に「世の中で一番の味方は夫ですよ」と言って微笑んでいらっやっったのが印象的でした。

●●●●● 次回の女将さんは、栗山地域の伴玉枝ばんたまえさんです。



# 続けることが大切(難しいけど)

かみやま ゆり

～足尾に緑を育てる会 事務局長 神山悠利さん～

## 足尾に緑を育てる会とは？

1996年に渡良瀬川流域の市民グループ5団体が集い発足しました。足尾銅山で荒廃した地に木を植える活動をしています。

春夏秋のイベントのほか、小学生を中心とした植樹体験を150団体ほど支援しています。

他に足尾環境学習センターで、足尾の歴史等について学び、その後植樹するという「見て学んで体験する」という環境学習を進めています。

## 会としての目標は？

2,500haあると言われる荒廃地に対し、現在25haの植樹で、まだ0.1%です。

目標は、植樹地が立派な森になって自然のダムとなり、より豊かな水を届けることです。

緑化には300年かかると言われていますが、それまで木も世代交代して、人も世代交代していったら、続けていければと思っています。



左下が神山悠利さん

## 仕事と家の両立は？

自治会の副会長も受けており、忙しいときもありますが、夫と家事を分担しています。

今度、5日間ほど家を空けます。結婚して最長になりますが、夫や近くに住む祖母の理解があるので空けることができます。

## 家事の分担はどのように？

会の男性メンバーに「うちは風呂掃除を自分で3回やったら、妻に1回徹底的にやってもらう。全部自分ですと、やり残しとかでうるさく言われるのが嫌だから。それが夫婦円満の秘訣かな」との話を聞き、お互いに尊重し合うことは大切だなと思い、うちでも参考にしています。

## これを読んでくださる方にメッセージは？

足尾に来てほしい。見てほしい。そして1本でも植えてほしいです。初代会長の好きな言葉が「目標は大きく、行動は足元から」。私も大好きな言葉で、草の根的な活動を行うこの会にぴったりだと思います。

## 編集後記

今回は、男性が多く務める役職（自治会長と事務局長）を務めている女性を取材してきました。みなさん「もっともっと良くしていこう」という思いにあふれていらっしゃいました。「女性だから」「男性だから」ではなく、共にやったほうが「もっともっと良くなる」のだと思います。

〔取材・編集〕京井陸奥夫（足尾） 山本 美保（栗山） 赤澤 正之（今市） 桑原 弘子（足尾）  
小日向 智（日光） 齊藤 佳子（藤原） 齊藤 春美（栗山） 坪内めぐむ（今市）  
福田 賢作（藤原） 福田 幸子（今市） 脇阪 良枝（日光）